
令和6年度
新潟県食品産業動向調査
概要版報告書

令和7年3月

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象企業抽出基準.....	1
3. 調査内容.....	1
4. 有効回答件数・回収率.....	1
5. 調査の方法.....	1
6. 調査の期間.....	1
7. 調査実施機関.....	1
8. 調査報告書の読み方及び注意事項.....	2
II 調査結果	3
1. 貴社の事業内容・経営状況について.....	3
問 1. 主たる製造品目.....	3
問 2. 売上高（令和5年度）.....	4
問 3. 今年度（4～12月）の業況.....	5
問 4. 収益向上に向けて取り組んでいる項目.....	9
問 5. 原油・原材料価格の高騰及び円安による影響.....	10
問 6. 今年度の県産農林水産物の作柄による影響.....	11
2. 新潟県産農林水産物の使用状況について.....	12
問 7. 県産農林水産物の使用割合.....	12
問 8. 県産農林水産物の使用割合変更への意向.....	1
問 9. 使用拡大を検討している県産農林水産物.....	2
問 10. 県産農林水産物の使用を拡大する上での課題.....	2
3. 商品開発・改良・製造委託について.....	3
問 11. 商品の改良（食味の改善、パッケージの改良等）の実施状況.....	3
問 12. 商品の改良を行う上で課題.....	4
問 13. 他社の一次加工製品を材料として用いた製品.....	5
問 14. 一次加工事業者に委託を行っている主な理由.....	7
問 15. 業務受託の実施状況.....	8
問 16. 原料としての規格外品の活用状況.....	9
4. その他.....	10
問 18. 食品産業関連のセミナーやイベントなどの情報提供への意向.....	10
III. 調査票	11

I 調査概要

1. 調査の目的

県産農林水産物や加工品の認知度や「食の新潟」のイメージ向上及び原油・原材料価格高騰や作柄による県内食品産業への影響等を把握するため、本県の基幹産業である食品産業の動向をアンケート調査により把握するもの。

2. 調査対象企業抽出基準

県内に主たる事業所を置く食品製造事業者

3. 調査内容

- ・ 事業内容・経営状況について
- ・ 新潟県産農林水産物の使用状況について
- ・ 商品開発・製造委託について
- ・ その他

4. 有効回答件数・回収率

調査対象件数	511 件
有効回答件数	379 件
回収率	74.2%

5. 調査の方法

郵送調査及び電話調査

6. 調査の期間

令和 6 年 12 月 30 日～令和 7 年 1 月 27 日

7. 調査実施機関

株式会社東京商工リサーチ 新潟支店及び本社市場調査部

8. 調査報告書の読み方及び注意事項

- 集計表の上段は回答件数、下段は構成比率である。
- 図表中の構成比率は、小数点第2位を四捨五入している。そのため、個別の値の総和が全体合計値と一致しないこともある。
- 回答が2つ以上ありうる複数回答は、構成比率の合計が100%を超える場合がある。
- 図表中の「n」とは回答件数の総数のことで、100%が何件の回答に相当するかを示す構成比率算出の基数である。
- 無回答は除いて集計している。
- クロス集計グラフに関して、「n」が2件以下のものは非公開とした。

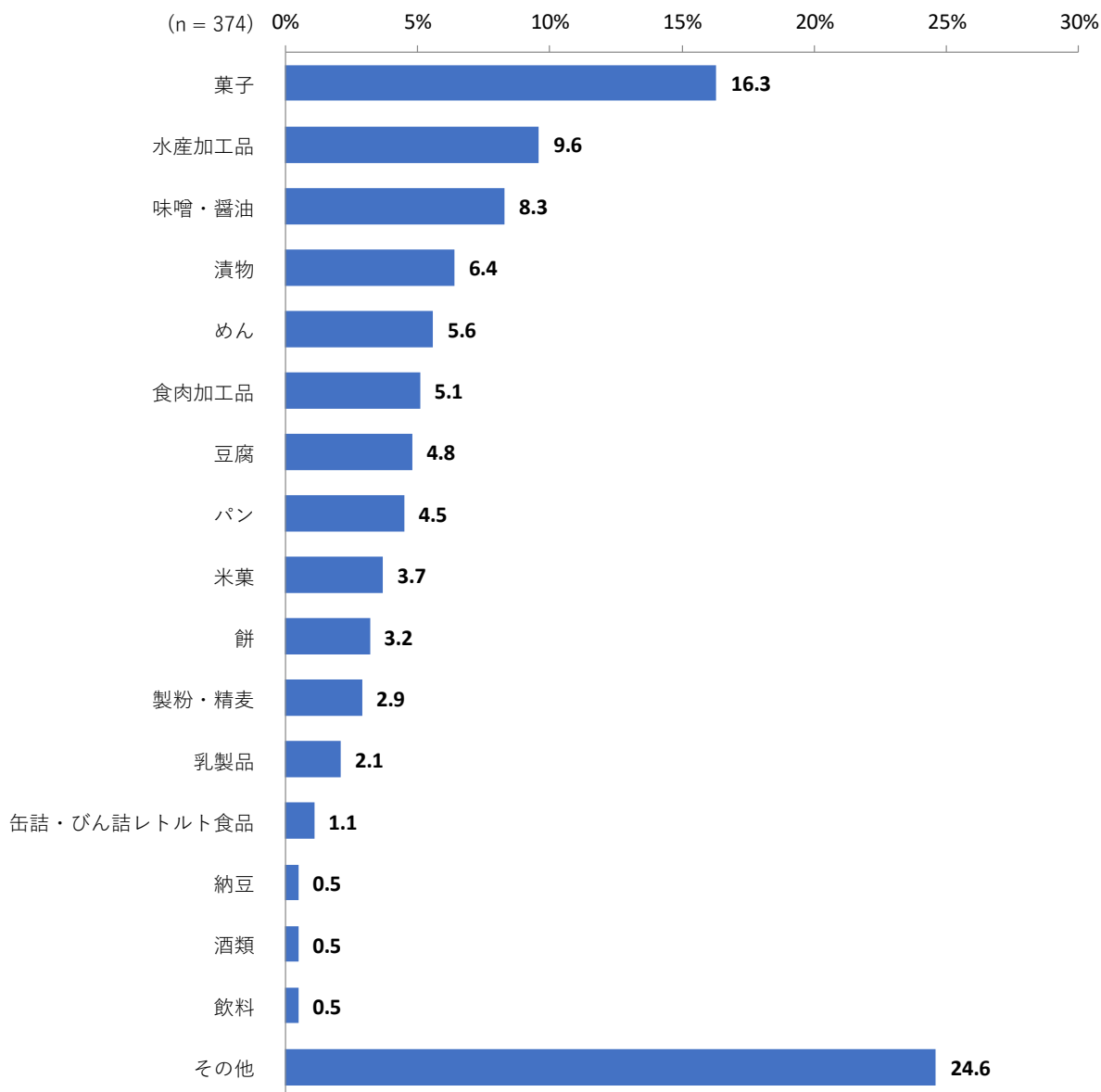
Ⅱ 調査結果

1. 貴社の事業内容・経営状況について

問 1. 貴社の主たる製造品目についてご回答ください（○は1つのみ）。

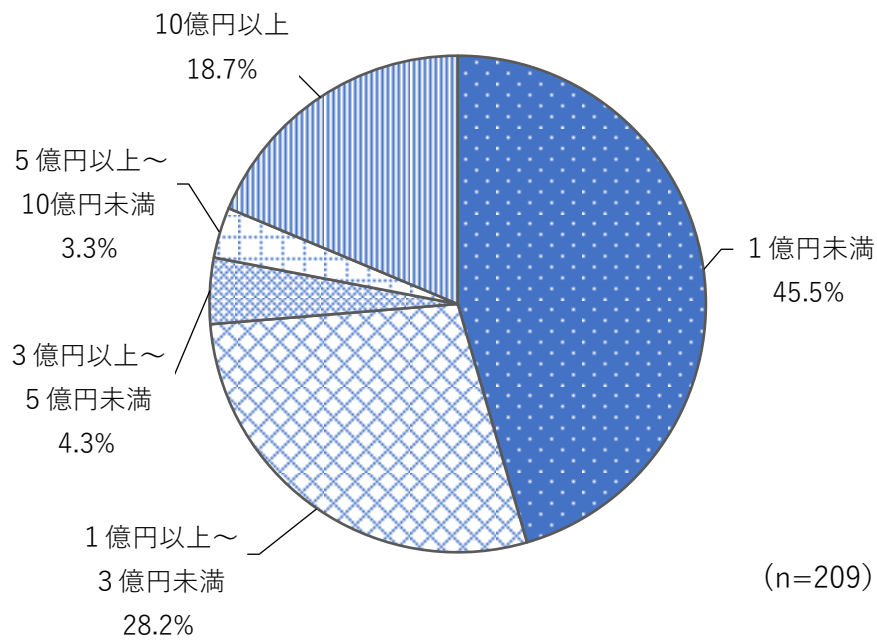
「菓子」が16.3%で最も高く、次いで「水産加工品」が9.6%、「味噌・醤油」が8.3%であった。

なお、「その他」が24.6%と特に高くなっている。



問2. 貴社の売上高（令和5年度）についてご回答ください（○は1つのみ）。

「1億円未満」が45.5%で最も高く、次いで「1億円以上～3億円未満」が28.2%、「10億円以上」が18.7%であった。

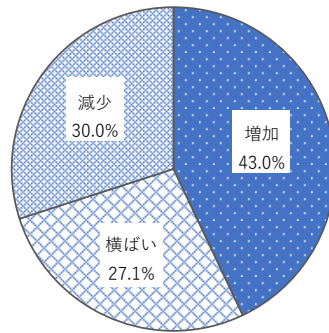


問3. 近年（令和4、5年）と比較して、貴社の今年度（4～12月）の業況についてご回答ください（それぞれ〇は1つのみ）。

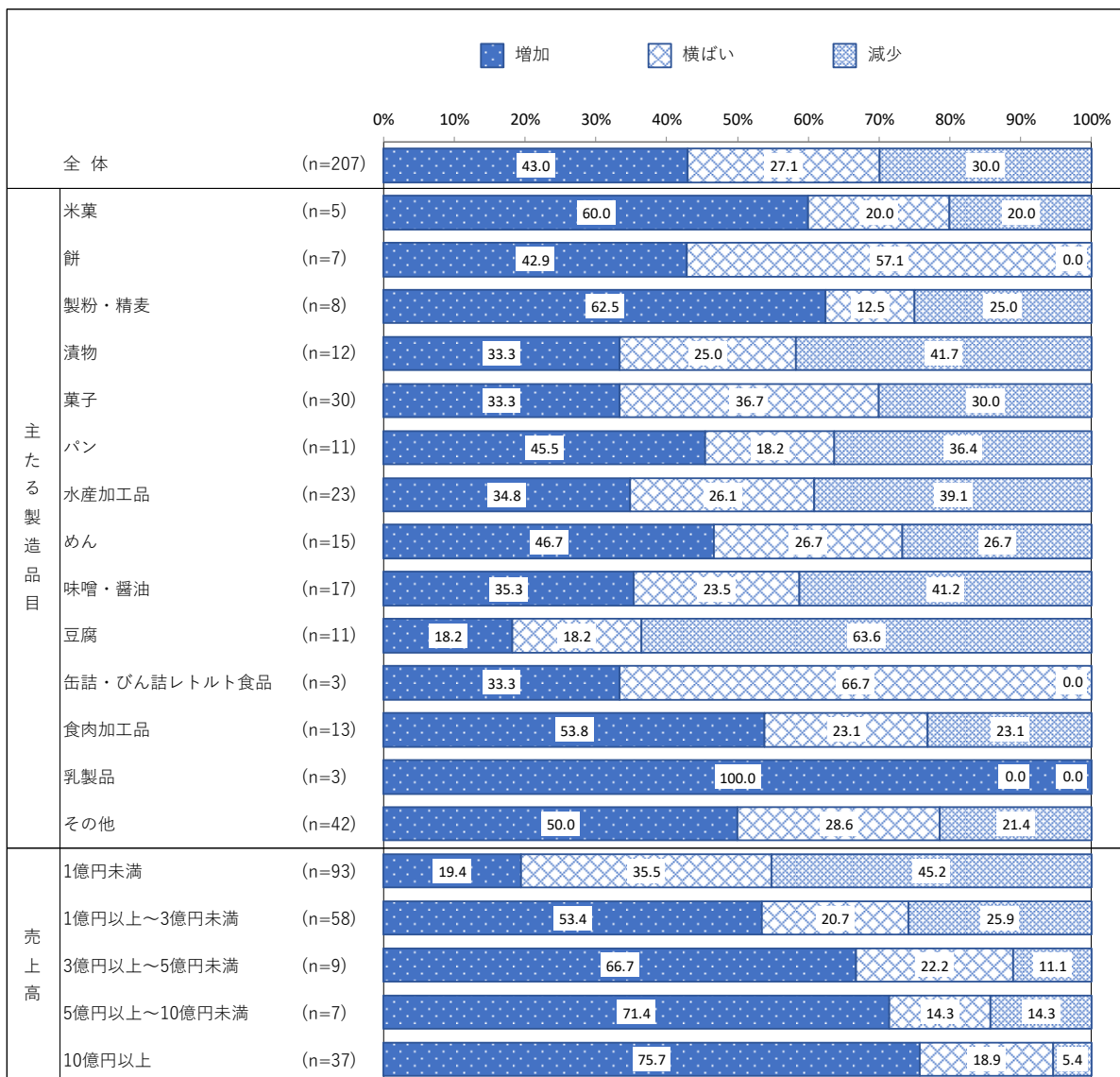
■ 令和4年度（4～12月）と比較した今年度（4～12月）の業況

【売上高】

「増加」が43.0%で最も高く、次いで「減少」が30.0%、「横ばい」が27.1%であった。

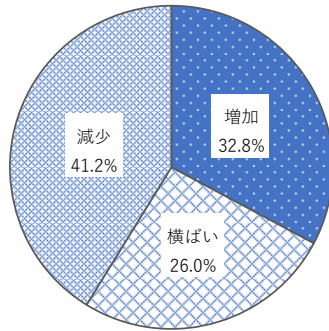


(n=207)

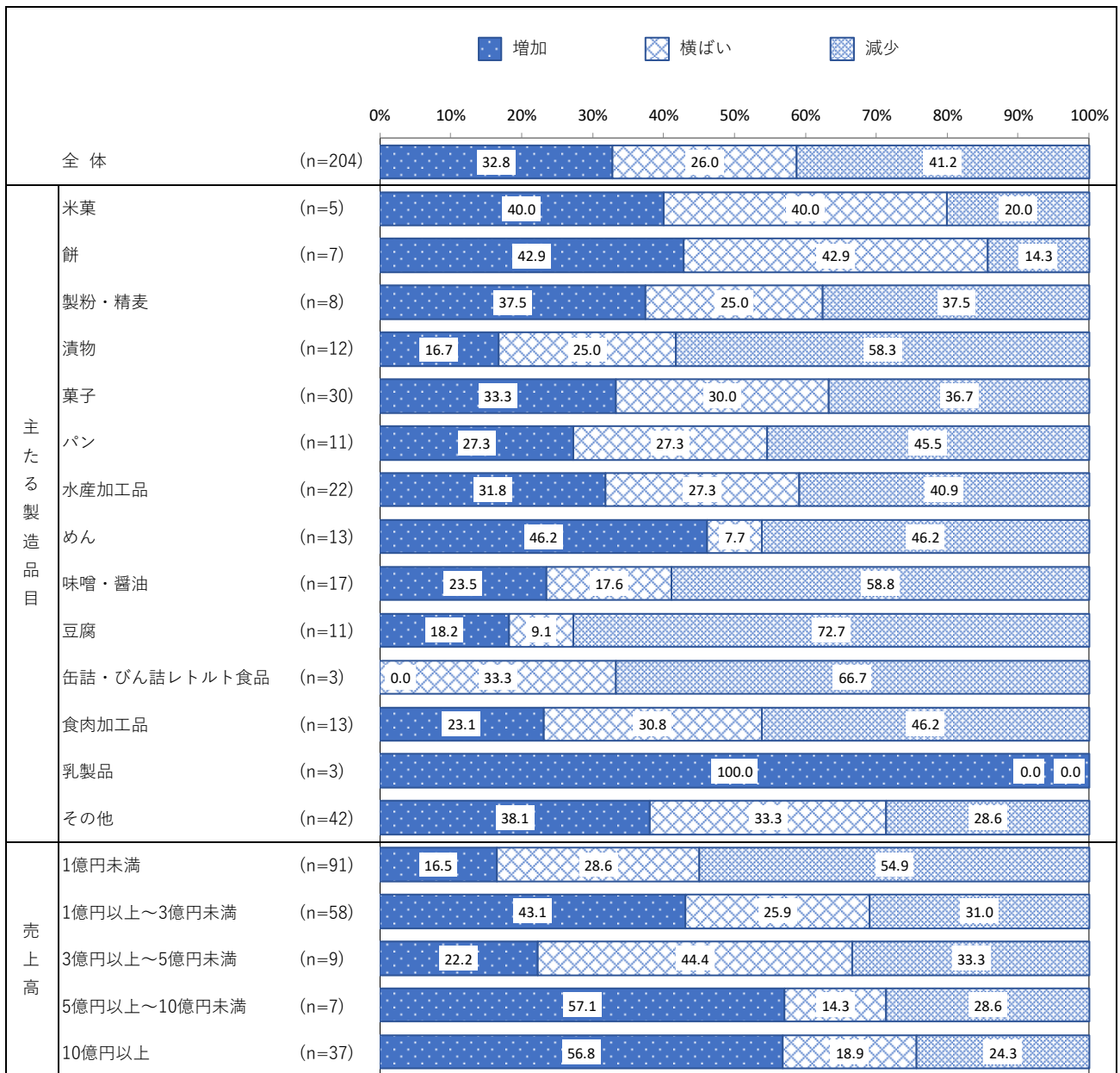


【経常利益】

「減少」が41.2%で最も高く、次いで「増加」が32.8%、「横ばい」が26.0%であった。



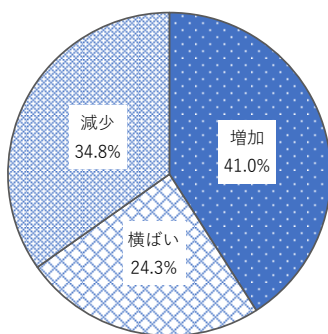
(n=204)



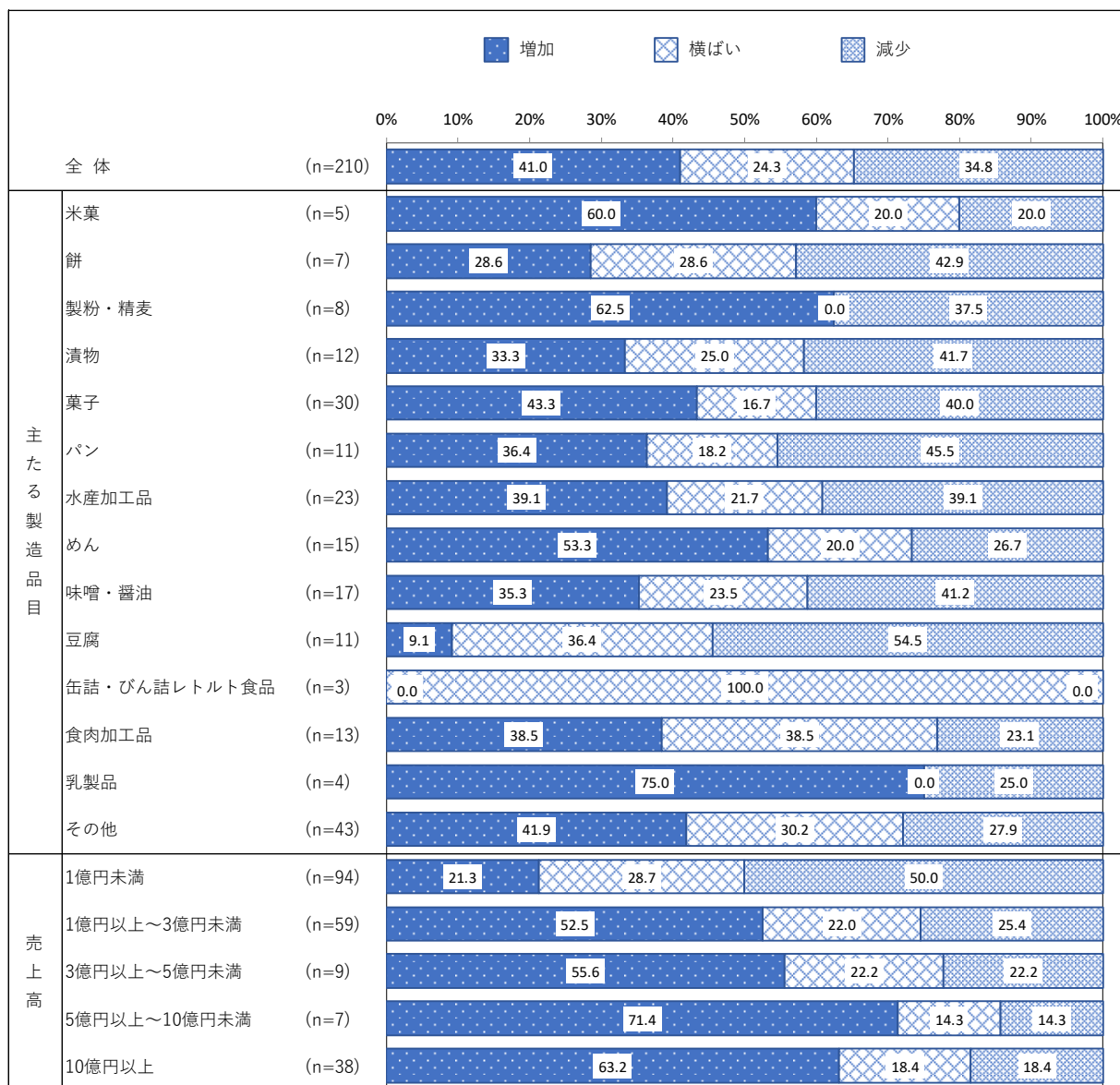
■ 令和5年度（4～12月）と比較した今年度（4～12月）の業況

【売上高】

「増加」が41.0%で最も高く、次いで「減少」が34.8%、「横ばい」が24.3%であった。

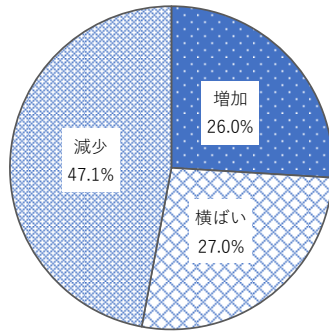


(n=210)

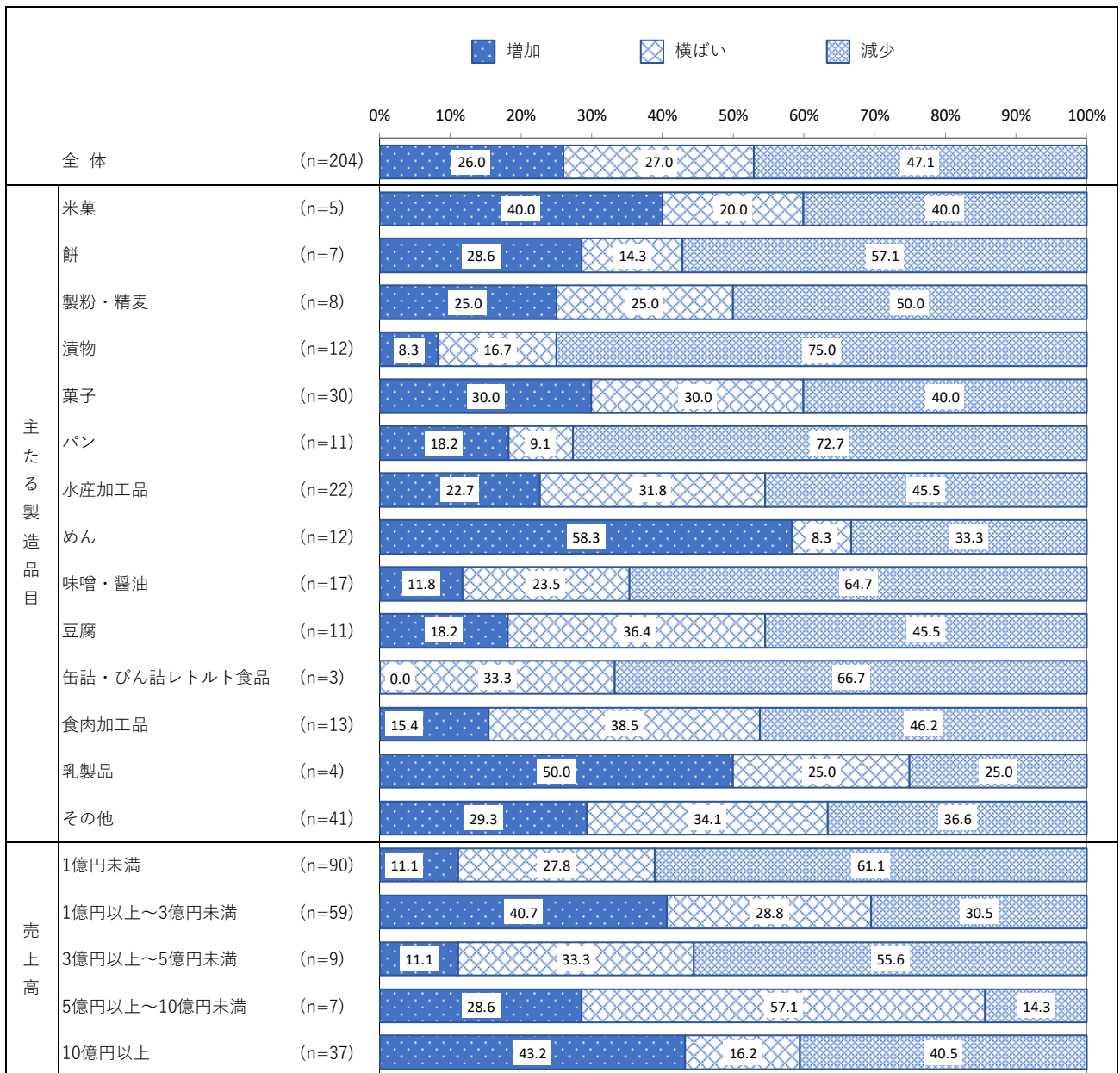


【経常利益】

「減少」が47.1%で最も高く、次いで「横ばい」が27.0%、「増加」が26.0%であった。

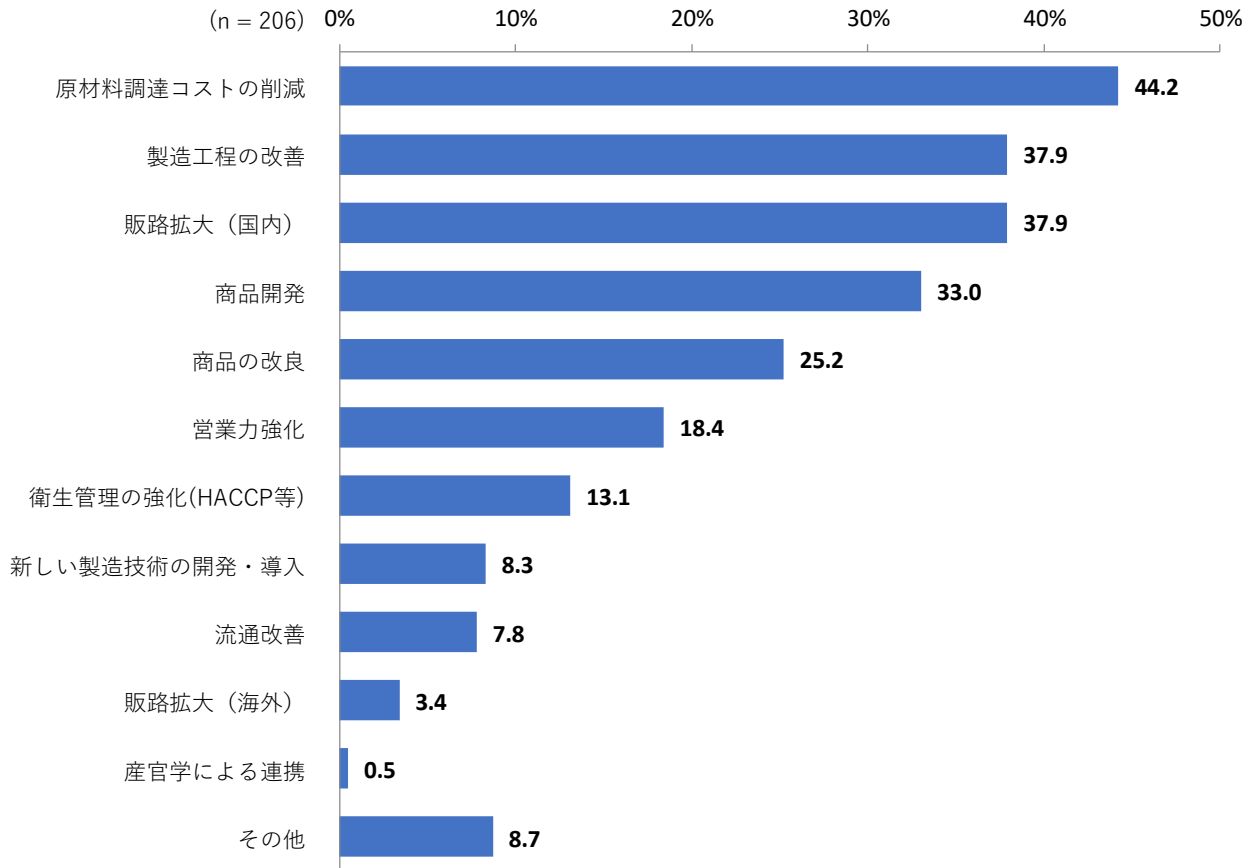


(n=204)



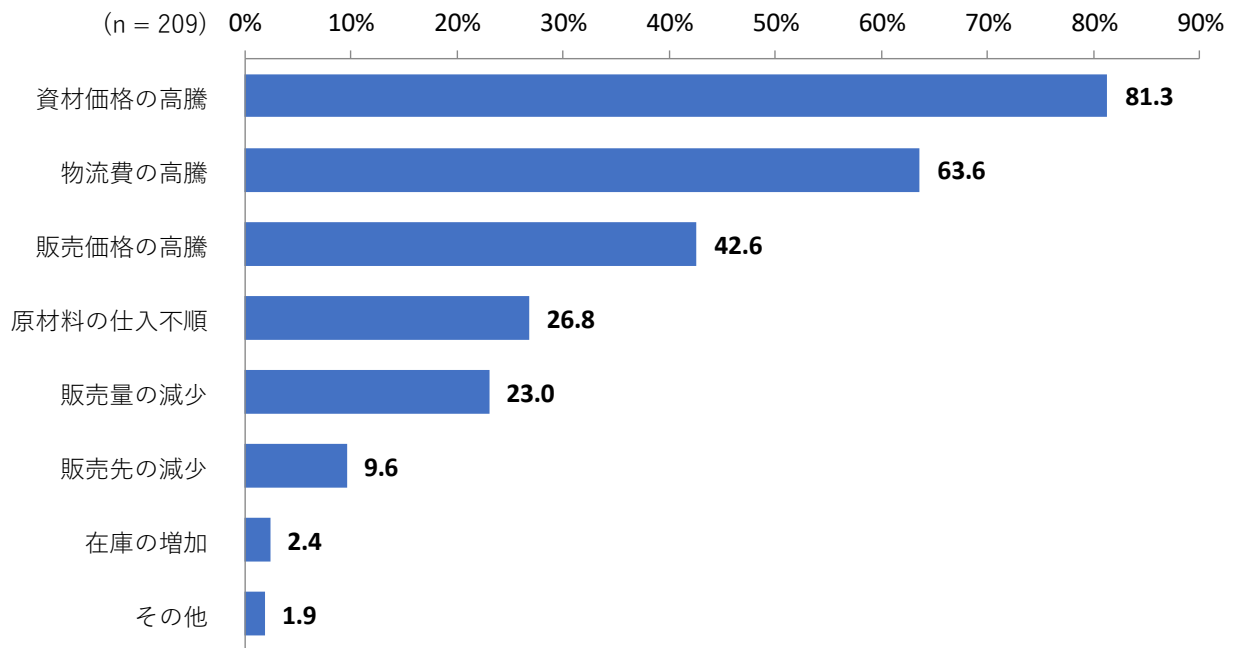
問 4. 収益向上に向けて、現在、取り組んでいる項目をご回答ください（〇は3つまで）。

「原材料調達コストの削減」が44.2%で最も高く、次いで「製造工程の改善」及び「販路拡大（国内）」が同率で37.9%、「商品開発」が33.0%であった。



問5. 海外情勢による原油・原材料価格の高騰及び円安の進行を受け、経営状況へ影響を与えている項目について、ご回答ください（複数回答可）。

「資材価格の高騰」が81.3%で最も高く、次いで「物流費の高騰」が63.6%、「販売価格の高騰」が42.6%であった。

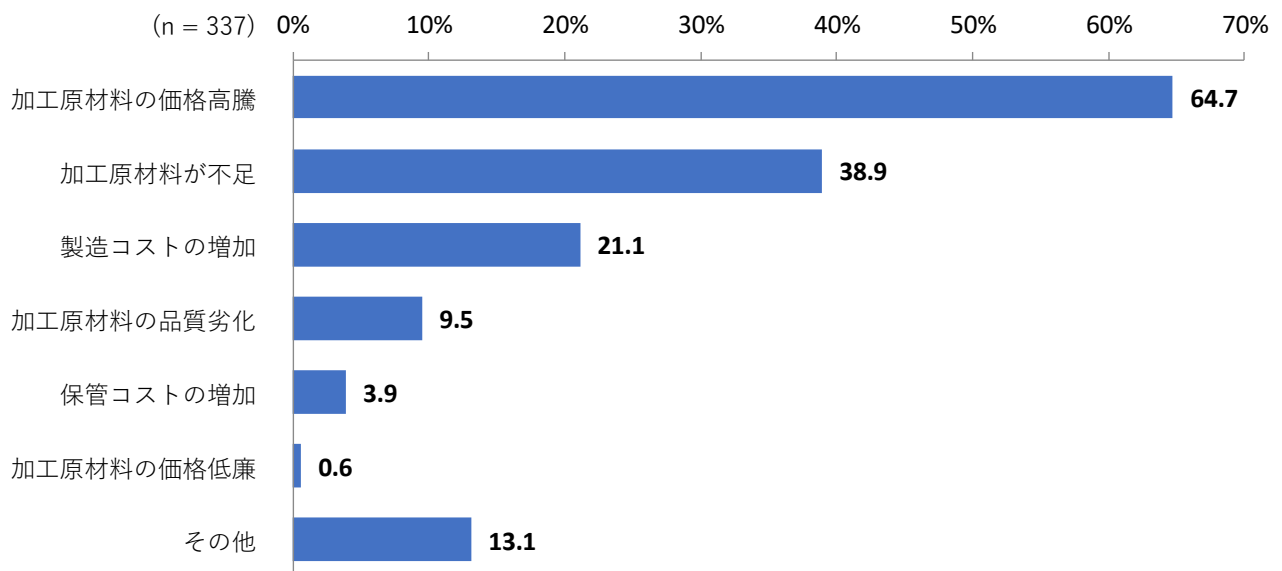


また、その他の回答として、以下のような回答があった（一部抜粋）。

- ・ 原材料費の高騰
- ・ 燃料費の高騰（光熱費）

問 6. 今年度の県産農林水産物の作柄による影響についてご回答ください（複数回答可）。

「加工原材料の価格高騰」が 64.7%で最も高く、次いで「加工原材料が不足」が 38.9%、「製造コストの増加」が 21.1%であった。



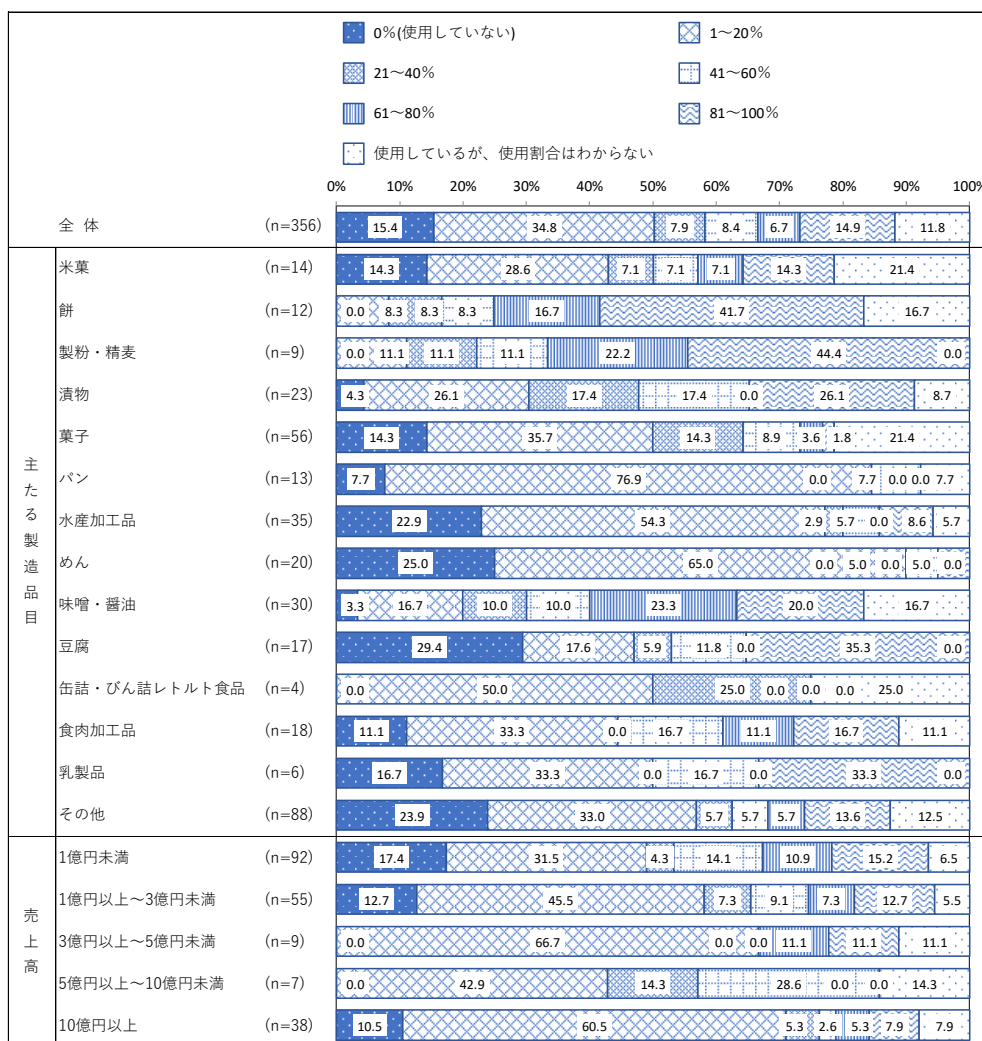
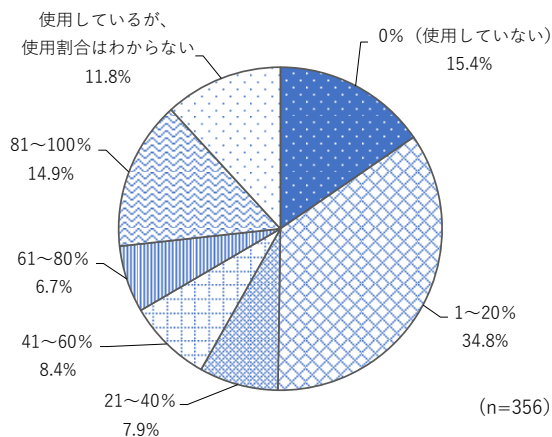
また、その他の回答として、以下のような回答があった（一部抜粋）。

- ・ 米が主体なのでなし。ただ、予想に反して、米が減収となる
- ・ 製品の高騰
- ・ 米価格の急騰
- ・ 野草の不足

2. 新潟県産農林水産物の使用状況について

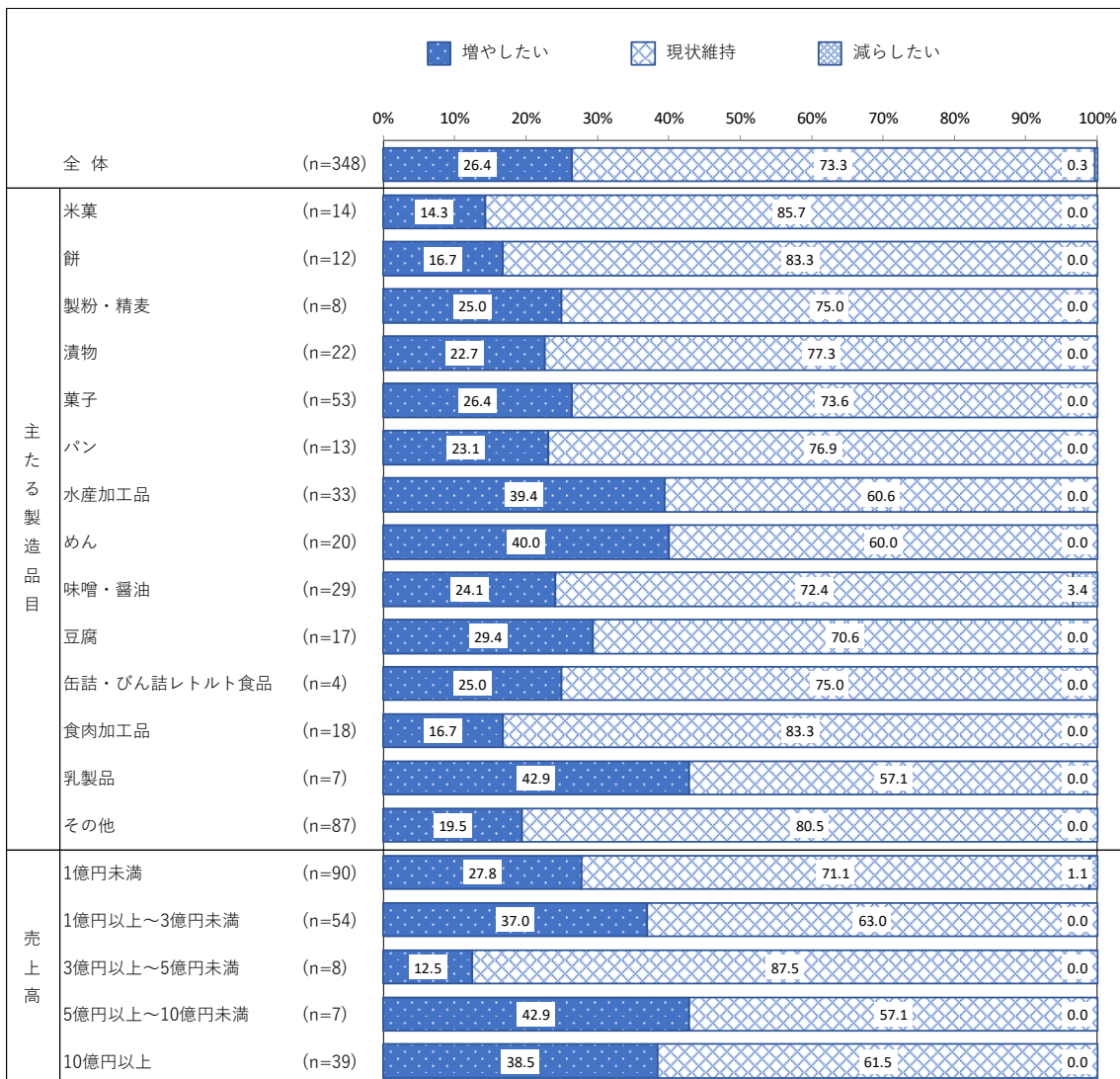
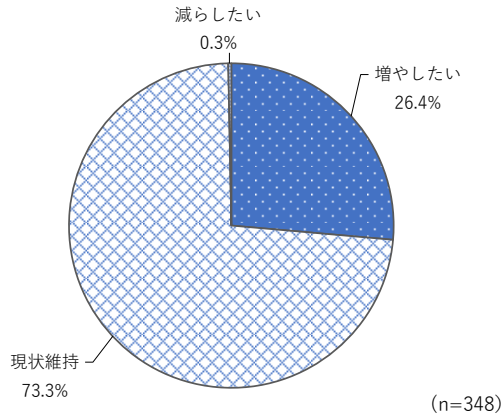
問7. 貴社全体で使用する原材料のうち、県産農林水産物の使用割合（直近1年間の使用重量ベース）をご回答ください（〇は1つのみ）。

「1～20%」が34.8%で最も高く、次いで「0%（使用していない）」が15.4%、「81～100%」が14.9%であった。



問 8. 今後、県産農林水産物の使用割合変更への意向はありますか（○は1つのみ）。

「現状維持」が73.3%で最も高く、次いで「増やしたい」が26.4%、「減らしたい」が0.3%であった。



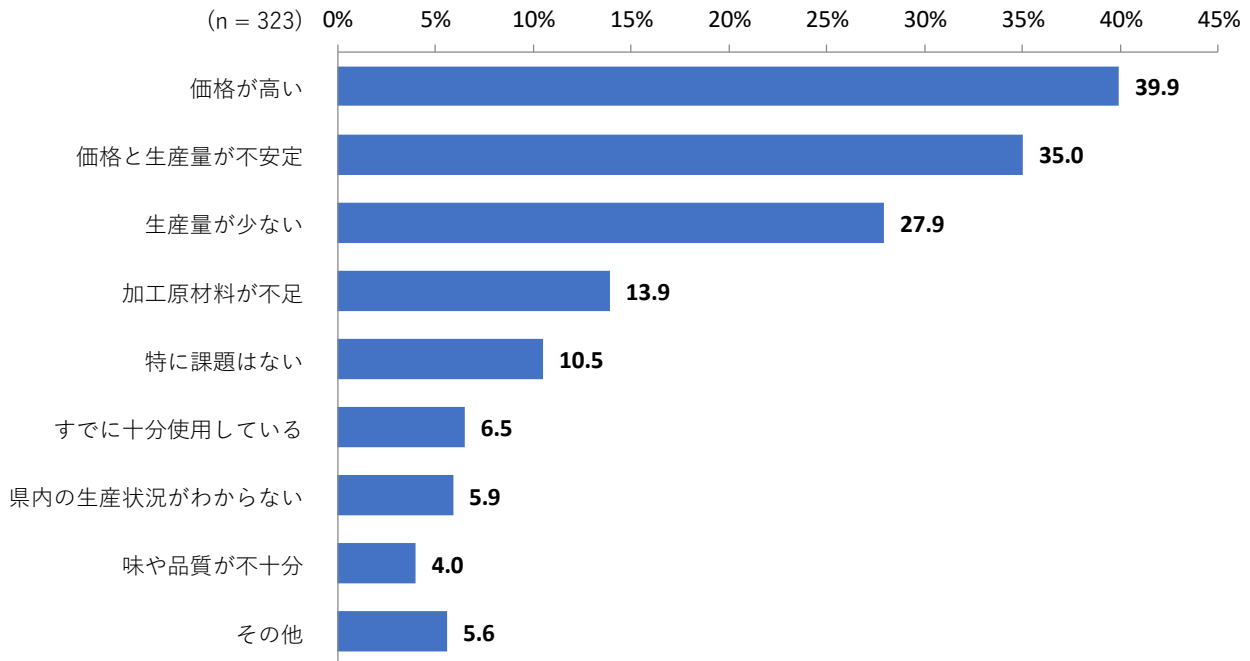
問9. 問8で「1. 増やしたい」と回答した方にお尋ねします。
使用拡大を検討している県産農林水産物について、具体的にご回答ください。

使用拡大を検討している農林水産物について、以下のような回答があった（一部抜粋）。

主要作物	米類（米、もち米、米粉など）（10件）、豆類（大豆、枝豆など）（8件）、小麦（小麦粉を含む）（6件）、いも類（5件）
園芸品目	梨（3件）、いちご（2件）、人参（2件）、大根、笹、きゅうり、ぶどう、体菜、栗、柿、桃、蓮根、玉ねぎ、キャベツ
畜産物	生乳、鶏卵
水産物	魚介類（7件）、海藻類（5件）
加工品	そば、お茶

問 10. 県産農林水産物の使用を拡大する上での課題をご回答ください（〇は3つまで）。

「価格が高い」が39.9%で最も高く、次いで「価格と生産量が不安定」が35.0%、「生産量が少ない」が27.9%であった。



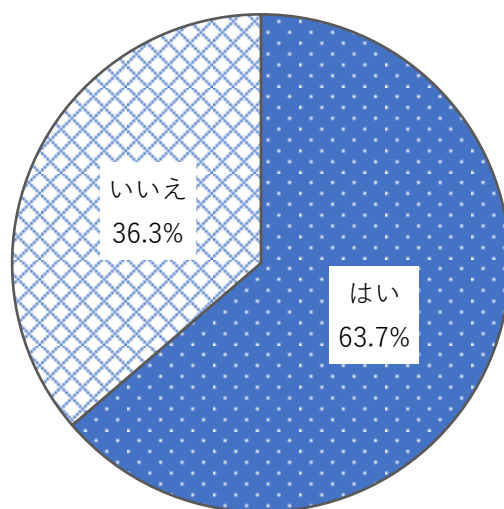
また、その他の回答として、以下のような回答があった（一部抜粋）。

- ・ 仕入先がない（5件）。
- ・ 指定された材料を使うため（3件）。
- ・ 時期が短い。
- ・ 高齢化。
- ・ 酪農家の減少。
- ・ 自分の所で野菜を作っている。
- ・ 材料は中国からのもの。
- ・ 価格の変動。
- ・ 豚を飼育するための、たい肥の不足。
- ・ 問屋が持ってくるものをそのまま使用しているため、産地にこだわっていない。
- ・ 品物によりいろいろな産地のものを使用しているため。
- ・ 天候不順による不作。

3. 商品開発・改良・製造委託について

問 11. 貴社では商品の改良（食味の改善、パッケージの改良等）を実施していますか（○は1つのみ）。

「はい」が63.7%、「いいえ」が36.3%であった。



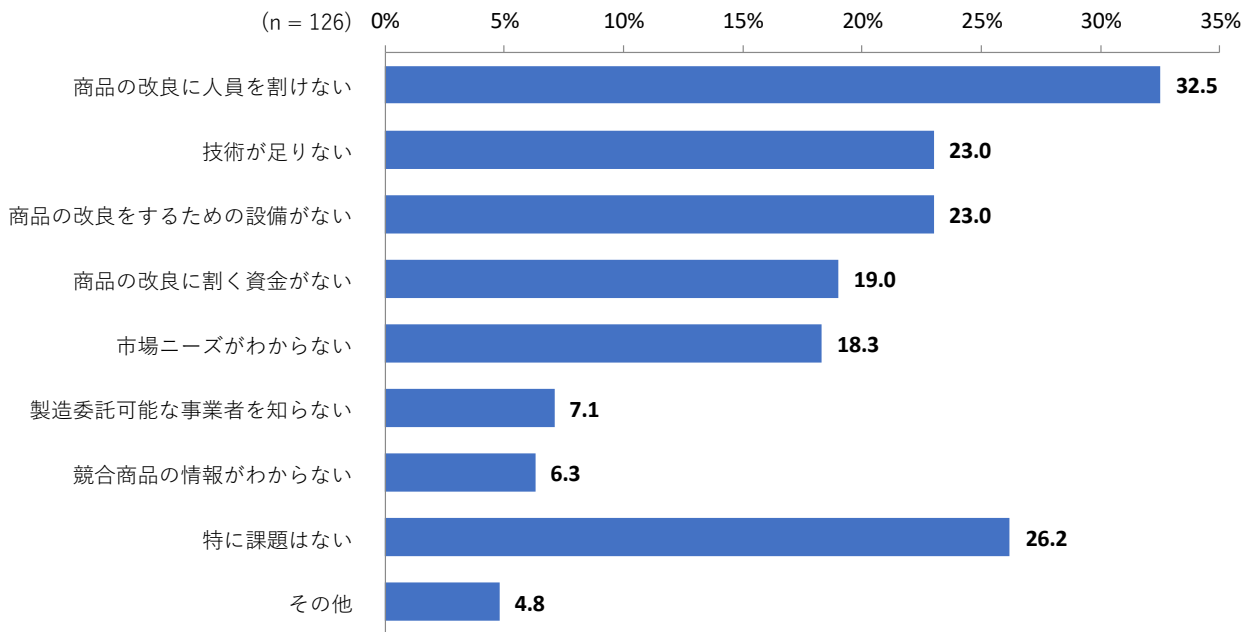
(n=204)

問 12. 問 11 で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

商品の改良を行う上で課題と考えている項目をご回答ください（〇は3つまで）。

「商品の改良に人員を割けない」が 32.5%で最も高く、次いで「技術が足りない」及び「商品の改良をするための設備がない」が同率で 23.0%、「商品の改良に割く資金がない」が 19.0%であった。

なお、「特に課題はない」が 26.2%と高くなっている。

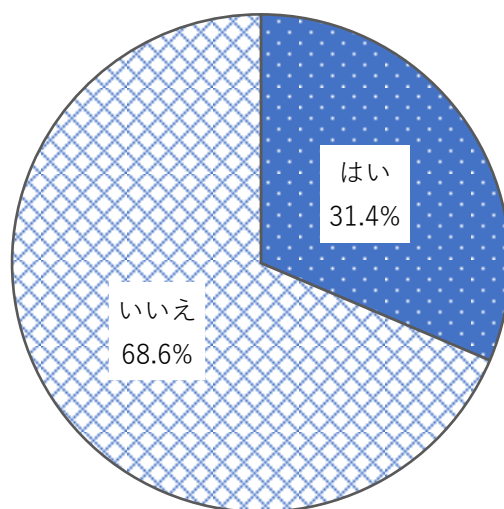


また、その他の回答として、以下のような回答があった（一部抜粋）。

- ・ 新潟の特産であり個性が強いだけ、全国に広がらない。
- ・ ニーズに合わせた改良をしていく必要があるが、売価、原価も考えると難しいことが多い。
- ・ 時間をうまくとれていない。
- ・ 人材不足。

問 13. 現在、他社の一次加工製品を材料として用いた製品はございますか。
他社の一次加工製品を使用している場合、可能であれば使用量の多い品目から順に最大
5 つまでご回答ください（○は1つのみ）。

- 他社の一次加工製品を材料として用いた製品の有無
「はい」が31.4%、「いいえ」が68.6%であった。



(n=185)

■使用量の多い品目

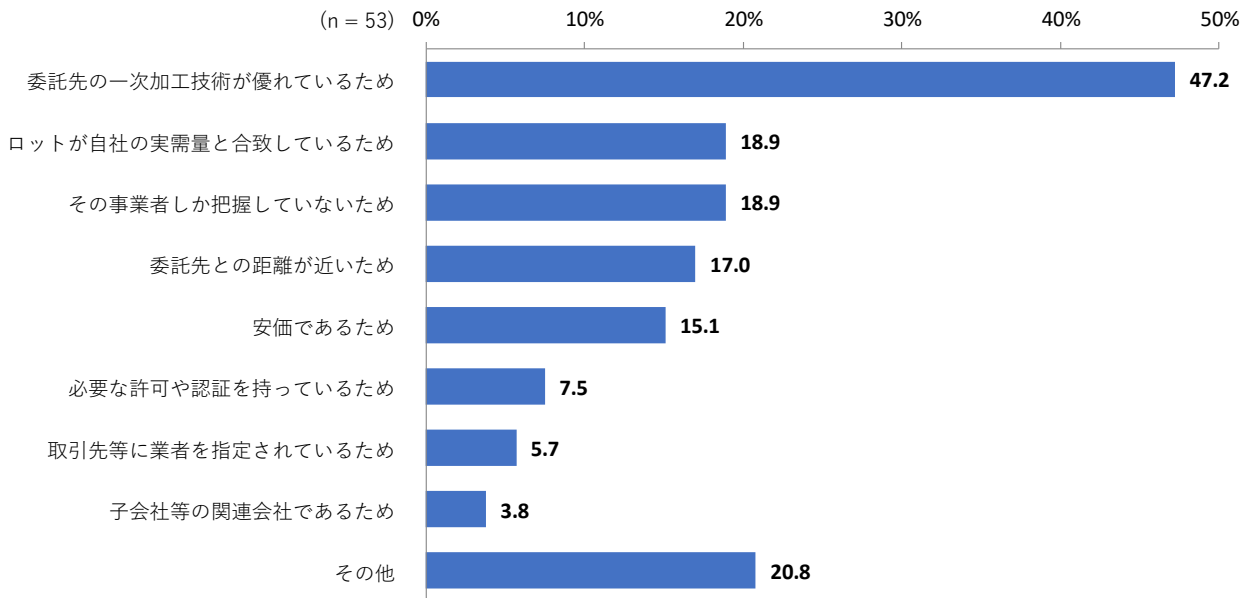
使用量の多い他社の一次加工製品として、以下のような回答があった。

原材料名	納品形態
えだ豆	洗浄、ペースト、冷凍
米粉	焙煎、乾燥、袋詰
こんにゃくいも	袋詰、その他
栗ペースト	ペースト
越の鶏（鶏肉）	その他
柿渋	搾汁
皮むき大根	皮むき、その他
しょうゆ	その他
粉末 村上茶	パウダー
ル・レクチェ	缶詰
そば	冷凍、乾燥
県産大豆	発酵
酒粕	袋詰
越後姫	搾汁
桜餡	袋詰
生揚	発酵
米 コシヒカリ コシイブキ	袋詰
いもジェンヌ	ペースト、冷凍
越後姫	その他
越後姫	冷凍
野菜（キャベツ）	カット
冷凍里芋	皮むき、冷凍
新巻鮭	冷凍、その他
黄金もち	その他
もち米	袋詰
たらのすきみ	皮むき、冷凍
アスパラ	ペースト
脱脂粉乳	パウダー
米	その他
越後姫	ペースト
米穀	袋詰
こがね餅米粉、コシヒカリ米粉	パウダー
えだまめ	皮むき、ペースト
加工デンプン	パウダー、その他
みかんの皮	パウダー、乾燥
糸魚川産甘えび	乾燥
イカ短冊	冷凍
米粉	パウダー
さつまいも	ペースト
人参	洗浄、皮むき、カット、袋詰
塩銀鮭フィレ	冷凍
酒米	瓶詰

問 14. 問 13 で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。
 その一次加工事業者に委託を行っている主な理由をご回答ください（〇は3つまで）。

「委託先の一次加工技術が優れているため」が 47.2%で最も高く、次いで「ロットが自社の実需量と合致しているため」及び「その事業者しか把握していないため」が同率で 18.9%、「委託先との距離が近いため」が 17.0%であった。

なお、「その他」が 20.8%と高くなっている。

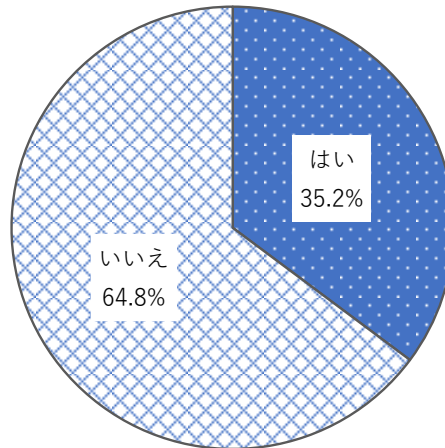


また、その他の回答として、以下のような回答があった（一部抜粋）。

- ・ 自社では加工できないため（2件）。
- ・ 在庫、設備等の理由から（2件）。
- ・ 組合で仕入れているため。
- ・ 安定供給。
- ・ 近隣地域の事業者であるため。
- ・ 他原料では仕様に合わないため。
- ・ 島内業者をお互い支え合うこと、使うことで島内の経済を循環させたいため。
- ・ 専門業社。

問 15. 現在、他社から製造に関する業務を受託（いわゆる OEM 等）していますか。受託している場合、可能であれば受託可能な業務内容・最低ロット数を教えてください（○は1つのみ）。

「はい」は 35.2%、「いいえ」は 64.8%であった。



(n=196)

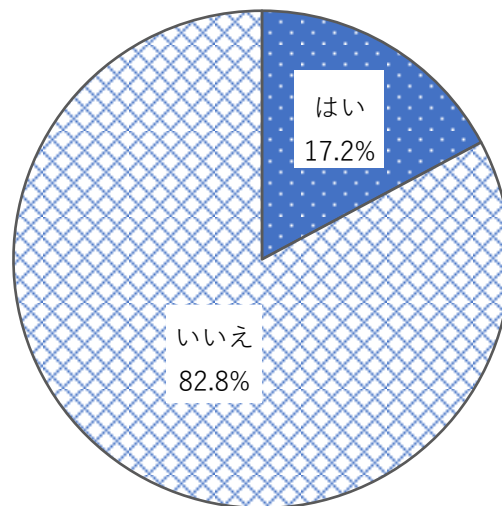
また、受託している製造工程について、以下のような回答があった（一部抜粋）。

- ・ 充填・袋詰（8件）
- ・ たれ・つゆ製造（8件）
- ・ 菓子製造（7件）
- ・ 製粉（6件）
- ・ パック製造（6件）
- ・ 大豆製品製造（5件）
- ・ 麺製造（5件）
- ・ 食肉製品製造（4件）
- ・ 惣菜製造（3件）
- ・ 煮込製造（3件）
- ・ 洗浄（2件）
- ・ 缶詰（2件）
- ・ 漬物製造（2件）
- ・ 餅製造・加工（2件）
- ・ パン製造（2件）
- ・ 包装米飯など（2件）
- ・ 焙煎
- ・ ペースト
- ・ 搾汁
- ・ 皮むき
- ・ 冷凍
- ・ 発酵
- ・ 日本酒、リキュール
- ・ カット
- ・ 弁当製造
- ・ 米糰
- ・ 削り節製造

問 16. 問 15 で「1. はい」とお答えの方に伺います。

加工の原料として規格外品を活用していますか。活用している場合、可能であれば、直近 1 年間の品目ごとの使用量をご回答ください（○は 1 つのみ）。

「はい」は 17.2%、「いいえ」は 82.8%であった。



(n=128)

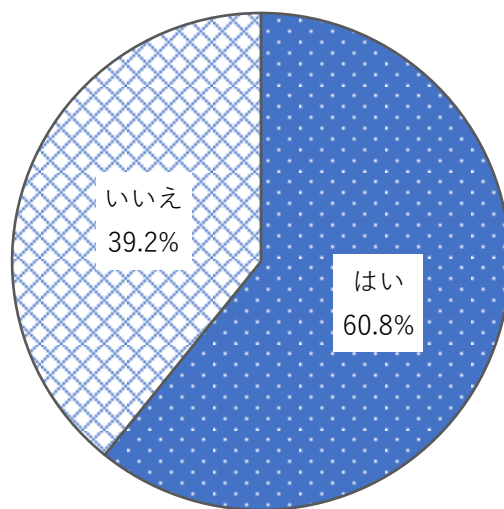
また、活用している規格外品について、以下のような回答があった（一部抜粋）。

- ・ 豆類（5 件）
- ・ 越後姫（4 件）
- ・ 米類（3 件）
- ・ さつまいも（3 件）
- ・ ル・レクチェ（3 件）
- ・ ねぎ（2 件）
- ・ 茄子
- ・ りんご
- ・ 玉ネギ
- ・ キャベツ
- ・ アスパラガス
- ・ どうもろこし
- ・ にんじん
- ・ 大根
- ・ 紅茶

4. その他

問 18. 今後、県が実施する食品産業関連のセミナーやイベントなどの情報を貴社へご提供させていただいてもよろしいですか（○は1つのみ）。

「はい」は60.8%、「いいえ」は39.2%であった。



(n=194)

Ⅲ. 調査票

調査票

令和6年度 新潟県食品産業動向調査

新潟県農林水産部 食品・流通課
(アンケート調査受託者：株式会社東京商工リサーチ新潟支店)

貴社の事業内容・経営状況について

問1. 貴社の主たる製造品目についてご回答ください(○は1つのみ)。

- | | | | |
|-------------|---------|----------|------------------|
| 1. 米菓 | 2. 餅 | 3. 製粉・精麦 | 4. 漬物 |
| 5. 菓子 | 6. パン | 7. 水産加工品 | 8. めん |
| 9. 味噌・醤油 | 10. 豆腐 | 11. 納豆 | 12. 缶詰・びん詰レトルト食品 |
| 13. 食肉加工品 | 14. 乳製品 | 15. 酒類 | 16. 飲料 |
| 17. その他 () | | | |

問2. 貴社の売上高(令和5年度)についてご回答ください(○は1つのみ)。

- | | | |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 1億円未満 | 2. 1億円以上～3億円未満 | 3. 3億円以上～5億円未満 |
| 4. 5億円以上～10億円未満 | 5. 10億円以上 | |

問3. 近年(令和4、5年度)と比較して、貴社の今年度(4～12月)の業況についてご回答ください(それぞれ○は1つのみ)。

比較年度	令和4年度	売上高	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少
		経常利益	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少
令和5年度	売上高	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少	
	経常利益	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少	

問4. 収益向上に向けて、現在、取り組んでいる項目をご回答ください(特に重点的に取り組んでいる項目3つまでに○印をつけてください)。

- | | | |
|----------------|--------------|--------------------|
| 1. 原材料調達コストの削減 | 2. 製造工程の改善 | 3. 新しい製造技術の開発・導入 |
| 4. 商品開発 | 5. 商品の改良 | 6. 衛生管理の強化(HACCP等) |
| 7. 流通改善 | 8. 営業力強化 | 9. 販路拡大(国内) |
| 10. 販路拡大(海外) | 11. 産官学による連携 | 12. その他 |

問5. 海外情勢による原油・原材料価格の高騰及び円安の進行を受け、経営状況へ影響を与えている項目について、ご回答ください(複数回答可)。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 販売量の減少 | 2. 販売先の減少 | 3. 販売価格の高騰 |
| 4. 物流費の高騰 | 5. 原材料の仕入不順 | 6. 在庫の増加 |
| 7. 資材価格の高騰 | | |
| 8. その他 () | | |

問6. 今年度の県産農林水産物の作柄による影響について、ご回答ください(複数回答可)。

- | | | |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 加工原材料が不足 | 2. 加工原材料の品質劣化 | 3. 加工原材料の価格高騰 |
| 4. 加工原材料の価格低廉 | 5. 製造コストの増加 | 6. 保管コストの増加 |
| 7. その他 () | | |

調査票

新潟県産農林水産物の使用状況について

問 7. 貴社全体で使用する原材料のうち、県産農林水産物の使用割合（直近 1 年間の使用重量ベース）をご回答ください（○は 1 つのみ）。

- | | | |
|-----------------------|-------------|--------------|
| 1. 「0%（使用していない）」 | 2. 「1～20%」 | 3. 「21～40%」 |
| 4. 「41～60%」 | 5. 「61～80%」 | 6. 「81～100%」 |
| 7. 使用しているが、使用割合はわからない | | |

問 8. 今後、県産農林水産物の使用割合変更への意向はありますか（○は 1 つのみ）。

- | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|
| 1. 増やしたい（問 9 へ） | 2. 現状維持（問 10 へ） | 3. 減らしたい（問 10 へ） |
|-----------------|-----------------|------------------|

問 9. 問 8 で「1. 増やしたい」と回答した方にお尋ねします。

使用拡大を検討している県産農林水産物について、具体的にご回答ください。

農林水産物名（産地）	
【記入例】 えだまめ（県内全域（特に中越））	

問 10. 県産農林水産物の使用を拡大する上での課題を、ご回答ください（○は 3 つまで）。

- | | | |
|----------------|------------------|---------------|
| 1. 価格が高い | 2. 生産量が少ない | 3. 価格と生産量が不安定 |
| 4. 味や品質が不十分 | 5. 県内の生産状況がわからない | 6. 加工原材料が不足 |
| 7. すでに十分使用している | 8. 特に課題はない | 9. その他（ ） |

商品開発・改良・製造委託について

問 11. 貴社では商品の改良（食味の改善、パッケージの改良等）を実施していますか（○は 1 つのみ）。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. はい（問 12 へ） | 2. いいえ（問 13 へ） |
|---------------|----------------|

問 12. 問 11 で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。

商品の改良を行う上で課題と考えている項目をご回答ください（○は 3 つまで）。

- | |
|---------------------|
| 1. 技術が足りない |
| 2. 市場ニーズがわからない |
| 3. 商品の改良をするための設備がない |
| 4. 競合商品の情報がわからない |
| 5. 製造委託可能な事業者を知らない |
| 6. 商品の改良に割く資金がない |
| 7. 商品の改良に人員を割けない |
| 8. 特に課題はない |
| 9. その他（ ） |

令和 6 年度
新潟県食品産業動向調査概要版報告書

令和 7 年 3 月
株式会社東京商工リサーチ